

⑨ 日本国特許庁 (JP) ⑩ 特許出願公開
 ⑪ 公開特許公報 (A) 昭58—201611

⑤Int. Cl.³
B 29 C 27/00

識別記号

厅内整理番号
7722—4F

③公開 昭和58年(1983)11月24日

発明の数 1
審査請求 未請求

(全 4 頁)

④素材の貼り合わせ装置

②特 願 昭57—85486
 ②出 願 昭57(1982) 5月19日
 ②發明者 中村滉

川崎市高津区向ヶ丘1496番地1
号B棟503号室

⑦發明者 斯波義文
調布市調布ヶ丘2丁目3番地1
号
 ⑧出願人 東洋食品機械株式会社
横浜市鶴見区矢向6丁目20番17
号
 ⑨代理人 弁理士 石戸元

明細書

1. 発明の名称

素材の貼り合わせ装置

2. 特許請求の範囲

互いに貼り合せる第1及び第2の素材の原反を天々支持する繰出端と、これらの繰出端の少くとも1つに設けた可変ブレーキ力のブレーキと、これらの素材を互いに平行に重ね合せて送る運搬と、上記第1及び第2の素材のマークを天々検出する検出器と、これら検出器の出力信号を入力し、これらの素材のマークの相対位置を測定して各マークが一致するよう上記可変ブレーキ力のブレーキを制御する装置とよりなる素材の貼り合わせ装置。

3. 発明の詳細な説明

本発明は、シーラントラベル装置を用いた袋に送る袋素材とラベル等の印刷物を有してこれらの印刷柄が合うように所定の相対位置で互いに重ねて貼り合せる素材の貼り合わせ装置に関する。

近年、食パン等の包装袋においては、品名、物品説明、原料図柄等を印刷した袋に同様のものを印刷したラベルを貼り合せたものが使用されている。

而してその包装袋を製造するには上記印刷を一列に有するベルト状の細長い袋素材とラベル素材の原反を天々繰出端により支持し、両者の印刷柄は人手により繰出端のブレーキを調節することにより合わせていたが、これでは調節に時間を要るので、多くの素材が無駄になると共に素材の送り速度を40m/min以上に速くすることはできず、生産速度が遅かつた。

本発明はかかる袋素材の印刷柄すなわちマークの合わせを自動的に行うようにしたものである。

なお、本発明は袋素材とラベル素材のみならず、他の素材の貼り合わせにも適用でき、また2枚の素材のみならず2枚以上の素材の貼り合わせにも適用しうることは勿論である。

以下図面につき本発明の一実施例を詳細に説明する。

特開昭58-201611(3)

ように制御される。なおこの素材材2の送出量は素材1の送出量より減少するが、この減少分は素材2のヒータ16にある部分が伸縮することにより吸収されるものである。

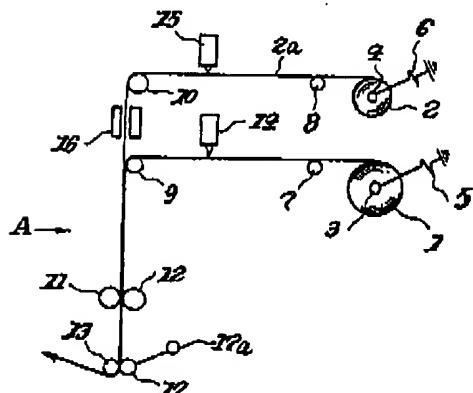
以上のように本発明によれば、素材のマークナ次から印刷頭を自動的に合わせているので、その頭部を迅速に行うことができ、素材の無駄が少いと共に素材の送り速度を180袋/分程度に上げることができ、その生産速度を従来の3倍以上に速くすることができるものである。

4. 図面の簡単な説明

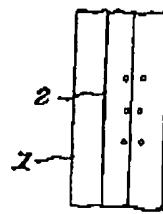
第1図は本発明の一実施例の構造を示す説明図、第2図は第1図△部よりみた素材の側面図、第3図はコンピュータのプロック図、第4図は各信号のグラフ、第5、6図はコンピュータのフローチャート、第7図はブレーキに作用する電圧とそれに現れる電流とのグラフである。

1, 2 …… 第1, 第2の素材、3, 4 ……
送出物、6 …… ブレーキ、14, 15 …… 検出器、
5, 5a …… 出力信号、20 …… 開閉装置。

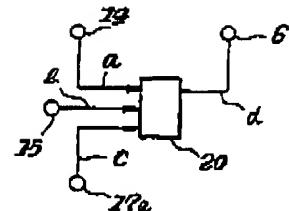
第1図



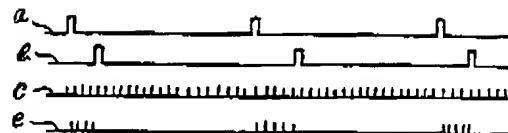
第2図



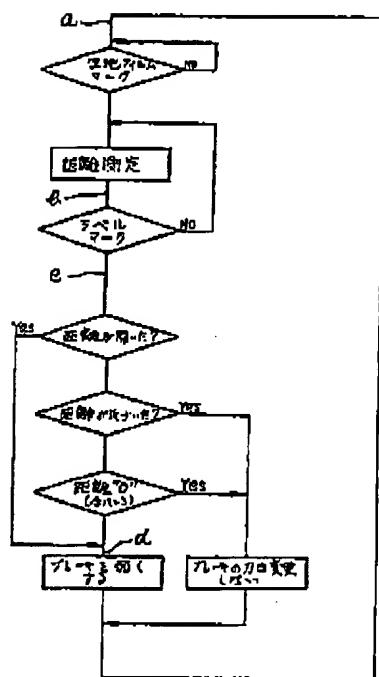
第3図



第4図

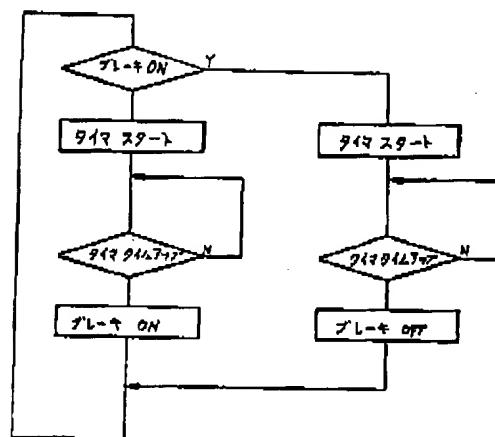


第5図



特開昭58-201611(4)

第6図



第7図

